

## 年金と高齢女性の就業行動

○高橋桂子 (経済政策研)

(目的) 年金は女性の就業行動にどのような影響を与えているか。雇用者として就業してもいいと考えている高齢女性を対象に計量分析を行う。

(方法) データは労働省『高年齢者就業実態調査』(1988年と1992年)の個票データである。ライフサイクルや仕事との関わりは出生コーホートにより大きく異なることを考慮し、コーホート単位に分析を行う。

(結果) 主な推計結果は以下の通りである。

- ① 高齢女性の就業・引退行動にもっとも大きな影響があるのは健康変数である。
- ② 賃金率はいずれのコーホートにおいても統計的に有意にプラス、他の世帯員収入はいずれのコーホートにおいても有意にマイナスになる。
- ③ 年金が高齢女性の就業行動に与える影響は、若いコーホートになるほど有意にマイナス、つまり就業阻害要因となる傾向にある。しかし、その影響は安定的ではなく、かつ健康変数に比べると小さい。
- ④ 年金額が一律1万円カットされた場合の就業促進効果は、1930年コーホートで0.5%前後である。